

# 城南まちづくり 協議会だより

第44号

城南まちづくり協議会事務局  
城南まちづくり拠点施設内  
☎0594-22-0034  
2024年(令和6年)1月1日

## 新年あいさつ

### 新しい年に向けて

城南まちづくり協議会 会長 深津 和男

あけましておめでとうございます

私たちを悩ませてきたコロナも昨年5月に第5類へと移行になり、あらゆる面で普通の元どおりの姿に戻ってまいりました。

まちづくり協議会も5年目を迎え、様々な事業を展開していく中で、携わっておられる方も徐々にではありますが増えつつあり、頼もしく思っております。新陳代謝が進まないと組織は活性化しません。一人でも多くの方に、何らかの関りをもっていただければと願っております。

昨年からスタートした「お互い様支援事業」は当初思っていたより、利用は増えていません。遠慮や戸惑いがあるかもしれませんが、支える側・支えられる側の両面から、人と人のつながりが増えていくことを望んでおります。今後の利用拡大に向けて、更なる広報・周知に努めてまいります。

皆様方のご理解・ご協力を本年もよろしく願いするとともに、本年も皆様方が健康で幸せな暮らしが送れるよう切に希望申し上げます。

### 新たな一年 暮らしと自然をつなぐ町

城南地区自治会連合会 会長 石川 久美

城南地区の皆さん、明けましておめでとうございます。

令和6年の新春を、清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

連合自治会では昨年、風水害や地震・津波に関する防災学習会や、静岡県や伊勢市の防災センターへの視察研修を開催することができ、大きな収穫を得ることができました。

まちづくり協議会におかれましては、年々事業が拡大し、お助けタクシー助成事業やお互い様支援事業では、地域の皆様のご利用も少しずつ増えてきているとお聞きしています。また、地域ポータルサイト「城南ぐらし」を昨年末に一般公開し、今後も益々充実を図っていかれるとのこと。このポータルサイトを通して、城南地区に暮らす方々と、桑名市、三重県については日本全国の方とを「つなぐ」一助になることを願っています。

最後になりますが、城南地区の皆様の益々のご発展とご健康、ご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。

### 「100」を目指して

城南地区社会福祉協議会 会長 飯田 寛

城南地区の皆さん、明けましておめでとうございます。

新たな年を迎え、皆様には希望に胸を膨らませていらっしゃるかと存じます。今年も幸多き年でありますよう、心からご祈念申し上げます。

さて、コロナ騒ぎもようやく収まり、我々の日常もようやく平常に戻りつつあるのではないのでしょうか。いたるところで人々の活気が感じられるようになりました。ここ数年の閉塞感から解放され、心も体も浮き浮きされている方が多いことと思います。

地区社協の活動も100%とはいきませんが、以前の状況に少しでも戻れるよう努めているところです。しかしながら、組織が動くには多くの方の協力が必要となってまいります。今後とも地域の皆様に支えられ、地域の皆様と歩んでいけるよう努力を重ねていきたいと存じます。そして、このことが城南地区の福祉の向上につながればと考えております。

人生100年時代、ご健勝でのご活躍をお祈り申し上げます。

# ひとくちニュース

11/7

## 人権啓発推進会

昨年に引き続き、世界人権問題研究センターボランティア人権ガイドの方に、耳塚・豊国神社・方広寺・東寺を案内していただき、人権意識の高揚を図ることができました。

方広寺では、大坂冬の陣のきっかけとなった鐘を見ることができ、昼食後は外国人観光客で賑わう京都伏見稲荷も散策しました。



11/11

## 防災学習会

防犯・防災部会では、自治会長や自主防災組織の方にも呼びかけて、防災学習会を開催しました。

今回は、県防災企画地域支援課の指導員をお招きして、いつ起こってもおかしくない地震や津波についてのお話をしていただき、参加された方は熱心に聞き入っていました。

11/16

## 城南を知る散歩

地域活動部会では、昨年作成した城南ふるさとかるた散策コース(Aコース)を活用し、地域の方が健康推進員の方と一緒に、コース上の歴史と触れあいながら、ゆっくりと歩き廻りました。

参加された方の中には、地元を再発見される方も多く、秋まっさかりの城南の散歩を楽しんでみえました。



11/26

## 学習発表会(文化祭)、 はなのまちづくり、まちかどカフェ

まちづくり拠点施設で活動中の講座・サークルの皆さんと地域で活動する今若会の皆さんの発表会、及び地域活動部会主催の「はなのまちづくり事業」「まちかどカフェ」を同日開催しました。

健康吹き矢の皆さんによる吹き矢の体験もあり、久しぶりに多くの方が来館する文化祭となりました。

